

GWI Update 2019年2月20日号

GWI、メンバーの科学への貢献を祝す

毎年2月11日と定められている「科学における女性と女兒の国際デー」は、女性と女兒が科学において果たしている重要な役割を認識する日である。今年のテーマ「より包摂的で持続可能な成長のための女性や女兒への投資」は、科学に女性が参入し、教育へのアクセスを促進することが持続可能な開発目標(SDGs)達成のために鍵を握る一歩だと思わしめる。GWI(国際大学女性連盟)は国際的、国家的、地域的なレベルでの提唱活動を通じて、国連の特殊諮問資格を通じて、また、草の根レベルにおける各国連盟協会(NFAs)の活動を通して、科学における女性と女兒の進出を奨励している。

GWIは第4回科学における女性と女兒の国際デーを祝うために、NFAが女性や女兒の科学への参入を増やすため世界中で実施している数多くのプロジェクトのいくつかに光を当てている。科学分野で先見の明がある女性を育成し、奨励するためにNFAが行っている活動について詳しく知りたいなら[ここ](#)をクリック。

GWI Update 2019年2月6日号

GWIは、国際女性性器切除(FGM)根絶の日に注目

今日、2019年2月6日、GWIは7回目の「国際女性性器切除(FGM: International Day of Zero Tolerance for Female Genital Mutilation)根絶の日」に注目している。GWIは、あらゆる年齢の女性と女兒の教育を通じたエンパワーメントを促進する団体として、女兒が教育に向かう際、この慣習のもたらす障壁に関心を持ち続けている。FGMには、既知の健康効果などない。それどころか様々な点で有害であることが知られている。FGMは痛みとトラウマを伴い、直後から長期に亘って健康に影響を与え続ける。FGMを支持する先祖伝来の社会文化にルーツがあるにせよ、この慣習は、国際的に人権侵害と認識されている。このテーマについての[プレス・リリース](#)から、FGMという有害な慣習根絶に向けてのGWIの関与と提唱活動についてさらに知っていただきたい。プレス・リリースは2016年GWI第32回総会において満場一致で採択された決議6にも言及している。

(訳者追記: FGMは、女性器の一部または全部を切除するものとするもので、精神的・性的・身体的な合併症が懸念され、性欲減退や感染症、不妊症の他、死を招く恐れもある。

<http://www.afpbb.com/articles/-/3161376>より)